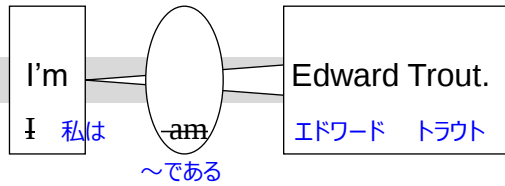


◇ Hello, everyone.

こんにちは みんな、全ての人

こんにちは、みなさん。

◆ I'm Edward Trout.

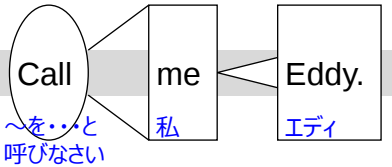


私はエドワード・トラウトです。

◆ **be動詞の文** <主語 + be動詞 + a >
「主語はaである」

※ I'm : I am の短縮形

◇ Call me Eddy.

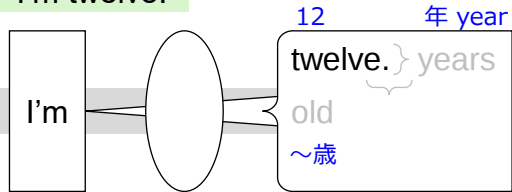


私をエディと呼んでください。

※ 命令形：主語(最初の□)がなく動詞で始まる形

※ call A B : AをBと呼ぶ * callの使い方のひとつ

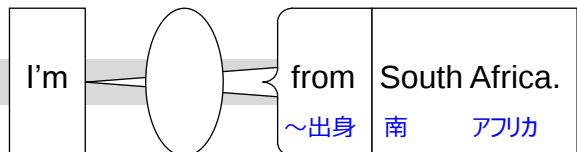
◇ I'm twelve.



私は12歳です。

※ old : □ {年齢} 〜〜歳の * 〜〜 years old(〜〜歳)

◇ I'm from South Africa.



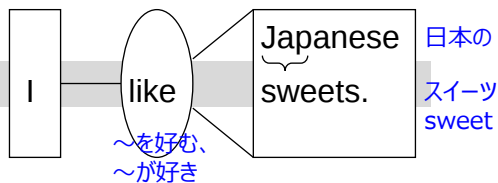
私は南アフリカ出身です。

※ from [] : ☆ 起点 〜から

□ [場所/人/物] から from school(学校から(帰るなど)) ;

☒ [出身地・出所] から、出身

◆ I like Japanese sweets.

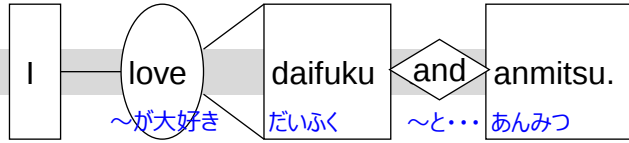


私は日本のスイーツが好きです。

◆ **一般動詞の文** <主語 + 一般動詞 [+β] >

「主語は[βを]一般動詞(〜する)」 * ここでは「好む」

◇ I love daifuku and ammitsu.

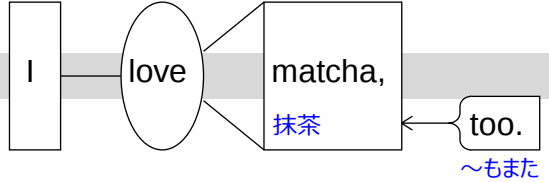


私はだいふくとあんみつが大好きです。

※ A and B : A と B

* 3つ以上を並べる場合は A, B, and C などと書く

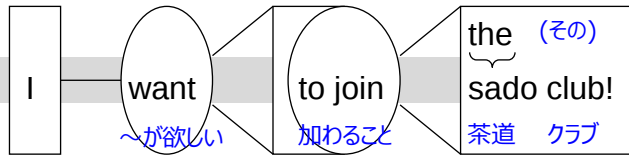
◇ I love matcha, too.



私は抹茶も大好きです。

※ too : ~もまた * たいてい文末におく

◇ I want to join the sado club!



私は茶道部に入りたいです。

※ the ~ : {状況から皆が特定できる人・物に言及する時}
(その)~ * この学校の茶道部

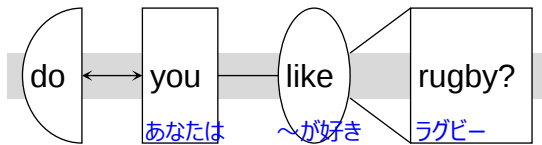
※ want to ~ : ~したい (～することを欲している)

※ to join : 加わること < to + 動詞の原形 > 「～すること」

* 秋ごろ(Unit 8)詳しく学習

◆ Eddy, do you like rugby?

エディ



エディ、あなたはラグビーが好きですか。

◆ 一般動詞では do を主語の前に置くと質問する文になる

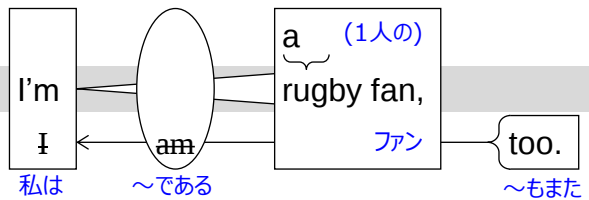
◆ Yes, I do.

はい

はい、（私は）好きです。

◆ 「はい」と答える文 <Yes, + 主語 + do. >

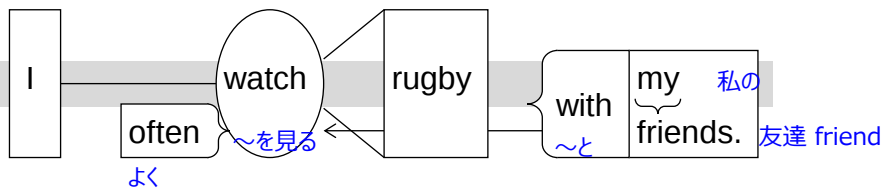
◇ I'm a rugby fan, too.



私もラグビーのファンです。

※ a ～ : {人・物(単体)の一般名・種類を言う時
(その中の1人・1つに言及する時)} (1人・1つの)～

◇ I often watch rugby with my friends.



私はよく私の友だちとラグビーを見ます。

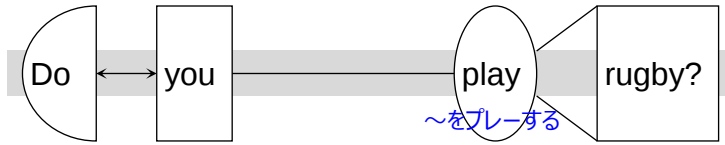
※ with [] : □ [同伴者・物] と ☆ 付帯 〜といっしょに

◇ Great!

すばらしい！

◇ Do you play rugby?

あなたはラグビーをプレイしますか。



◆ No, I don't.

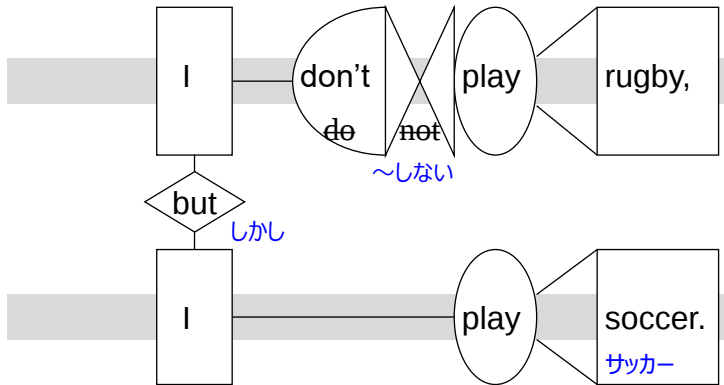
いいえ

いいえ、（私は）しません。

◆ 「いいえ」と答える文 <No, + 主語 + don't. >

◆ I don't play rugby, but I play soccer.

私はラグビーをプレイしません、でも（私は）サッカーをプレイします。



◆ 一般動詞の前に do not を置くと「～しない」と否定する文になる

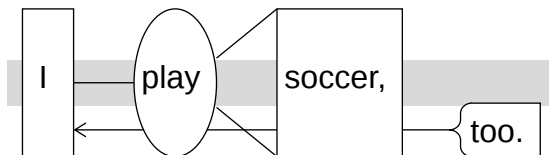
※ don't : do not の短縮形

※ but : {節と節をつないで} しかし、けれども

◇ Oh, I play soccer, too.

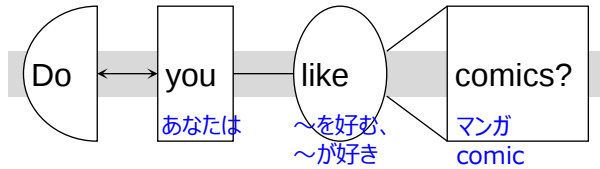
ああ

ああ、私もサッカーをプレイします。



◇ Do you like comics?

あなたはマンガが好きですか。

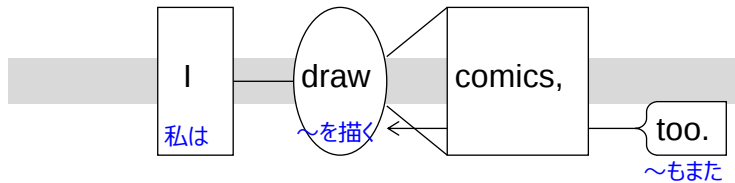


◇ Yes, I do.

はい、好きです。

◇ I draw comics, too.

私はマンガを描いたりもします。

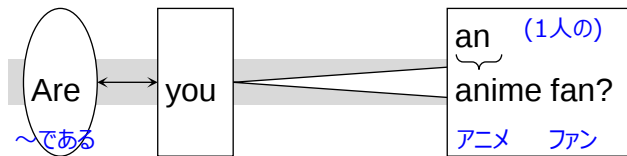


◇ Wow!

わあ！

◆ Are you an anime fan?

あなたはアニメファンですか。



◆ be動詞は主語(最初の□)と順序を入れ替えると質問する文になる

※ an ～ : a ～と同じ意味 ～が母音で始まる場合は an にする

※ a ～ : {人・物(単体)の一般名・種類を言う時
(その中の1人・1つに言及する時)} (1人・1つの)～

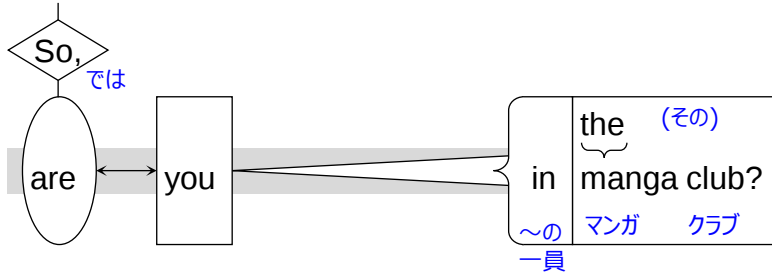
◆ Yes, I am.

はい、(私は) そうです。

◆ 「はい」と答える文 <Yes, + 主語 + be動詞 . >

◇ So, are you in the manga club?

では、あなたはマンガ部の所属ですか。



※ so : {節と節をつないで} だから、では

※ in [] : ☆ ~の中

□ [場所] で、の中で in the gym(体育館の中で) ;

☑ [所属先/会員となっている先] の一員で
in Class 1-3(1-3組の一員)※ the ~ : {特定の物に言及} (その)~
* この学校のマンガ部

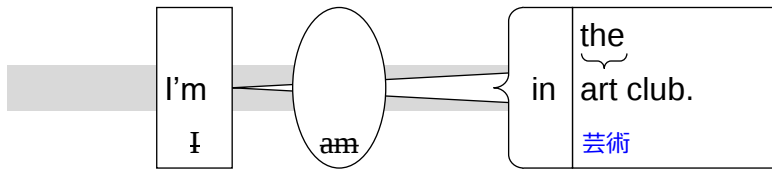
◆ No, I'm not.

いいえ、(私は) そうではありません。

◆ 「いいえ」と答える文 <No, + 主語 + be動詞 + not. >

◇ I'm in the art club.

私は美術部の所属です。



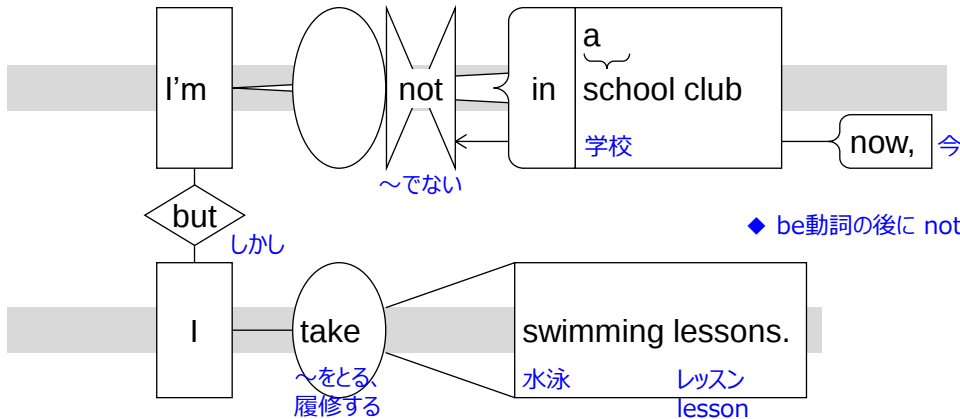
◇ How about you?

あなたはどうですか。

※ How about ~ ? : ~についてはどうですか。

◆ I'm not in a school club now, but I take swimming lessons.

私は今、学校の部の所属ではありません、でも水泳のレッスンをとっています。



◆ be動詞の後に not を置くと「～ではない」と否定する文になる